

第2章 基本理念と5つの施策目標

1 基本理念

基本理念

くらしのなかにはいつも水があります。

私たち京都市上下水道局は、
先人から受け継いだ、水道、下水道を守り、育くむことにより、
皆さまのくらしに安らぎと潤いをお届けしたいと考えています。
そして、ひとまちくらしを支える京の水をあすへつなぎます。

京都のまちやくらしに息づく水

平安京の時代から1200有余年、京都のまちには、常に「水」に関わりの深いものがたくさんありました。宮廷文化を彩る舟遊び、茶道や華道、京料理や銘酒、神社・仏閣、儀礼、行事など、清らかな水に支えられた「水の文化」とも言うべきこれらの歴史の所産が、今も京都のまちや人々のくらしに息づいています。

明治維新・東京遷都によって衰退した京都を復興させた琵琶湖疏水は、舟運による物資輸送、水力という動力源による産業振興やかんがいなど、子々孫々のため、京都の将来に思いを馳せて建設されたものです。物資輸送などの役割を終えた後も、京都のまちに絶えず水を送り続け、市民の貴重な水道水源であるとともに、南禅寺の水路閣、哲学の道、伏見の十石舟をはじめ、沿線の庭園や池などさまざまな親水空間を支え続けており、山紫水明の古都の趣や景観を今に伝えています。



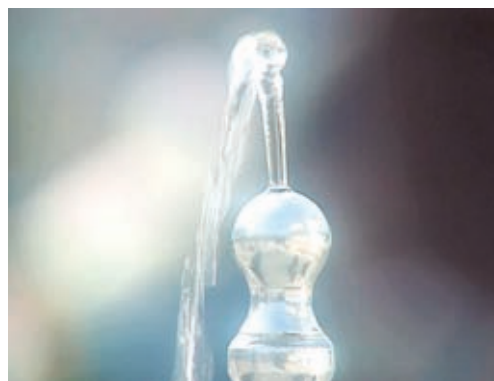
そして、今や都市生活の中で、「水」のないくらしは考えられません。しかし、それはあまりにも当たり前のことであり、災害や事故等の不測の事態が起こらなければ、日常生活の中で水道や下水道の必要性が意識されることはほとんどありません。地球環境の保全が叫ばれる今日だからこそ、改めて、「水」の存在意義や重要性を見つめ直す好機ではないでしょうか。

上下水道事業の社会的な役割とは

水道・下水道は、都市の基盤施設であり、同時に、市民の皆さまの日常生活を支える重要なライフラインのひとつです。水道は、安全・安心で良質な水道水を安定的にお届けし、飲料水をはじめ、風呂、トイレ、炊事、洗濯など、健康で文化的な生活を営むために不可欠なものであり、下水道は、大雨による浸水被害からまちを守るとともに、市民の皆さまが使用された水を集め、再びきれいな水にして河川に戻すことにより、快適で衛生的な都市生活を支えることはもとより、親水空間としての水辺環境の維持にも貢献しています。

また、琵琶湖・淀川水系の中流域にあって、京都市の上下水道事業は、下流域にくらす約1,100万人の人たちの水源を守り、流域全体の水環境を保全していくことに対して大きな役割を担っています。

こうした大自然が営む健全な水循環の一翼を担う、琵琶湖から大阪湾、瀬戸内海を結ぶ中間的な位置にある京都のまちの地域特性を踏まえて、上下水道事業を不可分な一連の事業としてとらえ、環境を基軸とした一体的な運営や総合的な水管理に取り組むことにより、流域全体の水環境の保全に努め、同様の問題を抱える都市にひとつの道筋を示す先駆者として、これからも広く社会に貢献していく必要があると考えています。



皆さまの暮らしに安らぎと潤いを / 京の水をあすへつなぐ

私たち京都市上下水道局は、明治の先人たちが京都の将来に思いを馳せて建設し、今日まで大切に受け継いできた琵琶湖疏水をはじめ、供用開始から間もなく100年を迎える水道、80年を迎える下水道の施設や管路等の財産を守るだけではなく、長期的な視野で将来を見据え、次世代のあるべき上下水道施設としての再構築を図ることにより、常に時代の要請におこたえできるよう、上下水道事業の推進に全力を挙げて取り組むことで、**皆さまの暮らしに安らぎと潤いをお届けしたい**、と考えています。

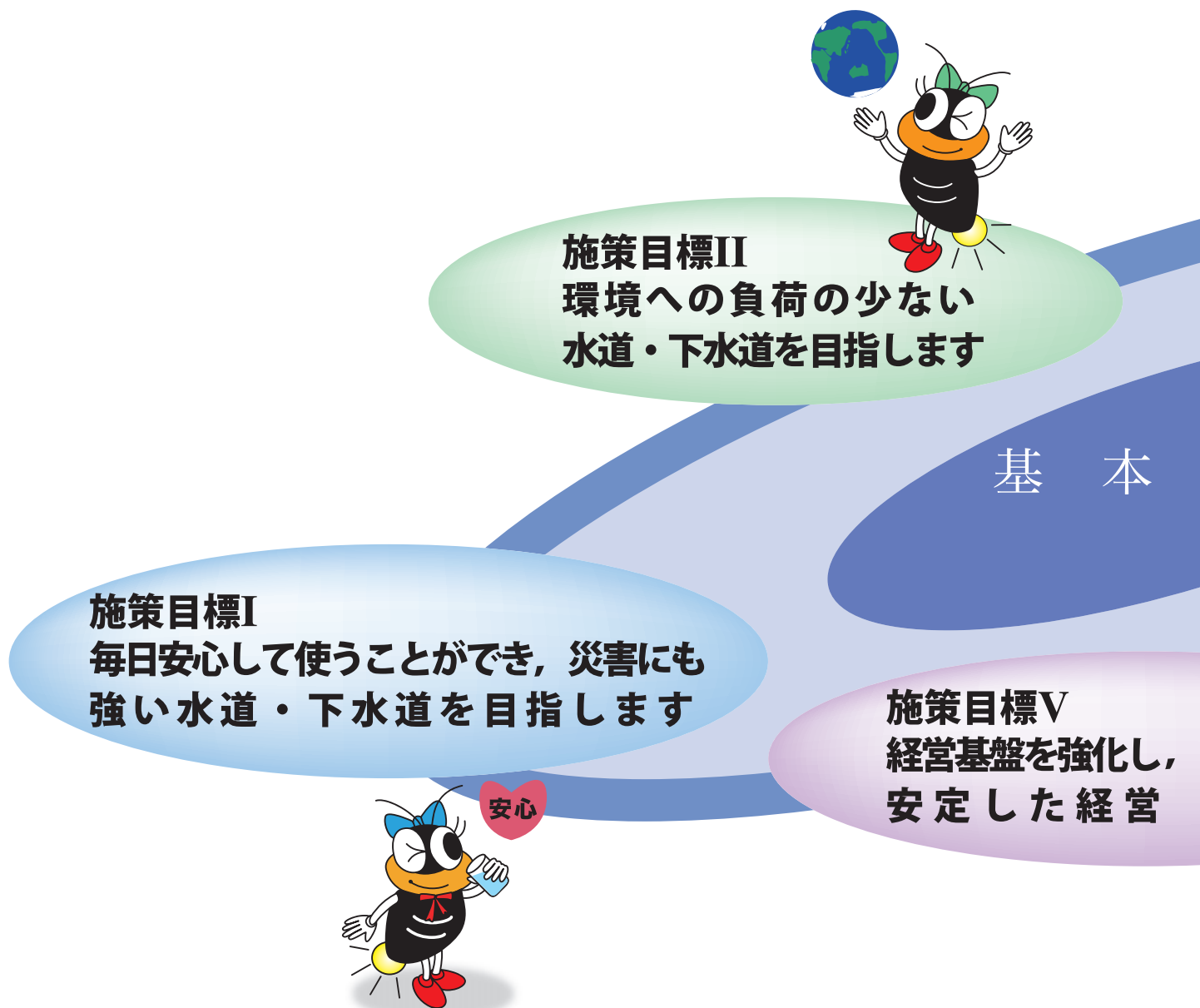
そして、京都のまちや皆さまの暮らしを支える社会共有の財産である、京都の水道・下水道を、いつまでも安心してお使いいただけるよう、**あすの京都へ確実に引き継いでまいります**。



2 5つの施策目標

基本理念の下で、私たち上下水道局に課せられた社会的な役割や使命を果たしつつ、中長期的な視点に立って山積するさまざまな課題に取り組み、上下水道サービスの質的な向上を図っていくため、「安全・安心」、「環境・くらし」、「安定・維持向上」、「サービス」、「経営」といったキーワードを基本とした5つの「施策目標」を掲げます。

この5つの施策目標の達成に向けて具体的取組を進め、先人から受け継いだ水道・下水道を守り、育くむことにより、皆さまのくらしに安らぎと潤いをお届けしたいと考えています。





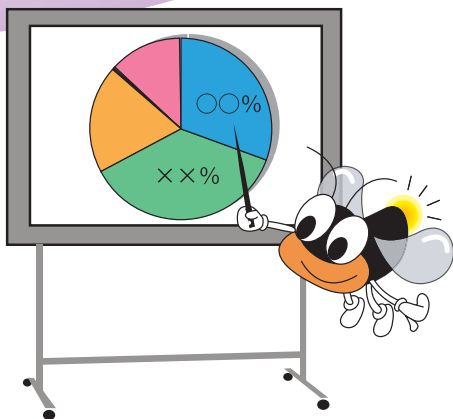
施策目標III
将来にわたって使い続けられるよう
水道・下水道の機能維持・向上に努めます



施策目標IV
皆さまのご要望におこたえし、
信頼される事業を展開します

理 念

将来にわたり
を行います



この5つの施策目標の下に、
目標達成に向けて特に力を入
れて推進していく必要が
ある 22 の重点推進施策を
設定します。